

新刊

2021年
5月発行

教員 × 弁護士 対話で解決

いじめから 子どもを守る

【著者】 鬼澤 秀昌 / 篠原 一生

いじめの“実例”に基づいて、教員と弁護士が徹底討論
教育現場に関わる方、必読の書!

実際のいじめに関する第三者委員会の報告書や裁判例を題材に、教員と弁護士が対話をして理解を深めていきます。「いじめが起きたときどう指導すればいいんだろう?」「いじめの対応って法律ではどうなっているの?」など教員の方々が悩ましいと思われる部分を論点として取り上げています。



[A5判・236頁・並製]

【発行】 エイデル研究所

【定価】 本体 **1,800円** [+税]

ISBN978-4-87168-665-5 C3037 ¥1800E

目次 第1章 はじめに／本書の特徴
第1章 奄美市中学生自死事件

- 事案の概要
- ひと目で分かる人物関係図
- 本事案に関する事実関係
- 教員×弁護士 議論
- POINT 1 9月の指導—事実確認
- POINT 2 9月の指導—情報共有・組織的対応
- POINT 3 9月の指導—記録保存について
- POINT 4 9月の指導—Aさんに対する指導の方法
- POINT 5 11月の指導—Bさんへの対応
- POINT 6 11月の指導—Aさんに対する指導①
- POINT 7 11月の指導—Aさんの行為のいじめ該当性
- POINT 8 11月の指導—Aさんに対する指導②
- POINT 9 家庭訪問時の対応
- POINT 10 事後対応の問題点と調査報告書の活用
- 事例に対するまとめ
- さらに理解を深めるために

第2章 桐生市小学生
いじめ自死事件(前編)

- 事案の概要
- ひと目で分かる人物関係図
- 本事案に関する事実関係
- 教員×弁護士 議論
- 前提の解説 安全配慮義務
- POINT 1 小学校5年生までの対応
- POINT 2 小学校5年生から小学校6年生への引継ぎ
- POINT 3 海外にルーツを持つ児童生徒に対するサポート
- POINT 4 学級崩壊に対する対応
- POINT 5 悪口に対する対応
- POINT 6 給食時の仲間はずれに関する対応・指導
- POINT 7 校外学習における対応・指導
- POINT 8 校長の義務と責任の範囲
- POINT 9 「判決」の位置付けと再発防止策
- 事例に対するまとめ
- さらに理解を深めるために

第3章 桐生市小学生
いじめ自死事件(後編)

- 事案の概要
- 本事案に関する事実関係
- 教員×弁護士 議論
- POINT 1・3 直後の対応とその判断
(アンケートについて): 校長報告書
- POINT 2 記者会見での対応
- POINT 4 第三者委員会の対応とその判断(その①)
- POINT 5 第三者委員会の対応とその判断(その②)
- POINT 6 訴訟における対応とその判断
- POINT 7 いじめ防止対策推進法との関係
- POINT 8 スポーツ振興センターの給付との関係
- POINT 9 私立学校の場合との比較
(さいたま地裁の裁判例との比較)
- POINT 10 再発防止策の実践方法について
- 事例に対するまとめ
- さらに理解を深めるために
- おわりに

Column: 「スクールロイヤー」とは? / Column: 自死についても学校が責任を負うか? / Column: アレルギーについて

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	教員×弁護士 対話で解決 いじめから子どもを守る	鬼澤 秀昌 / 篠原 一生 (著)
		部	本体価格1,800円+税	978-4-87168-665-5
		氏名/団体名		
		住所 〒		
	TEL			